

校長室だより

令和5年(2023年)
2月14日発行(No.29)
柏原市立 堅上小学校
校長 小森 美智代

上小まつり(5年生主催)

伝統をつなぐ 次のリーダーが大活躍

今年も「新年大会」(ふるさと先生の方々と地域の方を招いて、昔遊びや5年生が催し物を準備し、遊びに興
じながら、親交を深めるという素敵な行事)ですが、コロナウィルス感染症のために、地域の高齢の方をお招きす
ることは難しいということで、児童だけで行える「上小まつり」を5年生が企画してくれました。

なかよし団の話し合いからスタートし、5年生が調整して、出し物や場所を決定し、準備の役割分担、必要な物
の作成と短期間仕上げてくれました。当日は、お店番とお客さんの交代制で、みんなで楽しみました。もちろん
生たちも、ゲームに挑戦し、記録に一喜一憂しました。



ただいま準備中



5年生が、下の学年の団員に何をどうすればいいか、優しく教えています。

上小まつりのスタートです!



豆つかみに、コ
イン落としゲーム。動
作は簡単ですが、思
うようにいきませ
ん。だから、誰でも
楽しめるのかも。



「すごく頑張ってくれていました。6年生
も楽しませてもらいました。」と太鼓判!!



堅上小は、ストップウォッチの代わりにタブレットのタイマー機
能を活用しています。みんなで確認できるので、ばっちりです!



最後は、今日の「上小まつり」を振り返りました。たくさんの人の前で自分の感想を発表しまし
た。繰り返すことで、ほかの人にわかるように伝える力をつけていきます。

終わったあとは、5年生がきちんと片付け。

最後まで、5年生は、し
かりと活動してくれまし
た。こうやって学年が進む
と仕事や責任が増えてい
きます。堅上の子もたちは、
こうやって思いやりを
学んでいきます。なかよし
団交流の大きな目的です。

